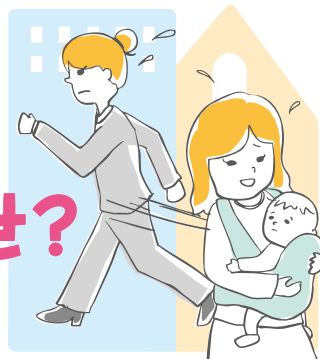


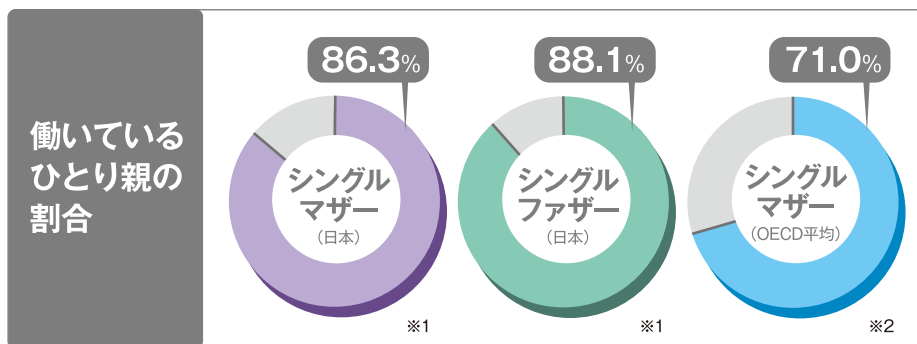
シングルマザー

シングルマザーは 貧困ととなり合わせ？



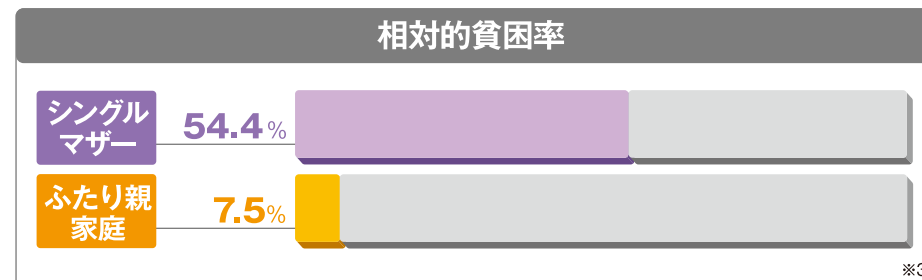
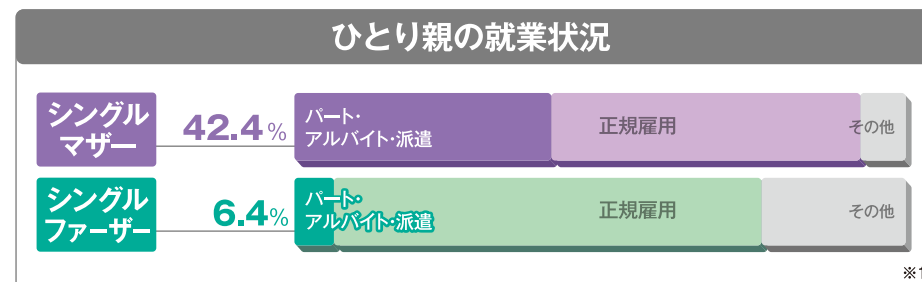
ひとり親世帯は全国で約134万世帯、そのうち89%がシングルマザー世帯です。^{※1}シングルマザーは仕事と家庭の責任を主に一人で担っています。

日本のシングルマザーの就業率はシングルファザーとあまり違いはありません。海外と比べても日本の**シングルマザーの就業率は高い**ことがわかります。



とはいえ、就労収入はシングルファザーと大きな差があります。**シングルマザーの就労収入は平均年間約236万円で、シングルファザーの半分程度です。**

平均的な世帯所得の半分未満の所得であることを「**相対的貧困**」^(備考参照)といいます。**シングルマザー世帯の半数以上が相対的貧困にある**という調査結果があります。



暮らしが苦しいと感じているシングルマザーは多く、32%が過去1年間に必要な食料が買えない経験をしています。^{※3} 厳しい暮らしの状況は、子どもの生活や教育にも影響します。

行政や民間でシングルマザーへの支援は進められていますが、充分とはいえません。ひとり親世帯が安心して暮らせる支援が求められます。

出典

- ※1「令和3年度 全国ひとり親世帯等調査」(厚生労働省)
- ※2「OECD Family database」(OECD) 2021年の数値
- ※3「令和3年 子供の生活状況調査の分析 報告書」(内閣府)

備考

「相対的貧困」：世帯の所得が等価可処分所得の中央値の半分に満たない状態

